

特定医療法人 中央会 尼崎中央病院



企業プロフィール

設立：1951年

所在地：兵庫県尼崎市

事業内容：医療業

従業員数：536名

(2013年8月時点)

～特徴的な取り組み～

看護師の離職率が高く慢性的な人員不足が課題であった職場に新しく就任した看護部長は、職場の課題を洗い出すため看護師全員との面談を実施。「スタッフ全員が働きやすい職場にする」ことに重点をおき、勤務体系の変更や業務の見直し、院内保育所の機能拡充などを行いました。この結果、人材の定着、残業時間の削減などが実現するとともに、経営の安定化にもつながっています。



取り組みのきっかけ

当院は駅から近く立地に恵まれており、給与や福利厚生面でも他院に比べ平均以上の水準を維持していたにもかかわらず、看護師については離職率が高く、慢性的な人材不足のため、新しく建てた病院の新棟も稼働できない状態でした。また、看護師が定着しないことにより人員の確保に経費がかさみ、病院経営を圧迫していました。2009年に就任した看護部長はこの状況を改善すべく、看護師全員と面談を行った結果、勤務時間や制度において、家庭を持つ看護師にとって働きにくい面があるなどの問題点が明らかになりました。そこで、多方面での業務改善に着手しました。

取り組み内容

● 取り組み内容① 夜勤の負担を減らすべく新たな勤務体系を導入、勤務時間にも工夫

家庭と仕事を両立している看護師にとって、深夜時間帯の出・退勤を伴う夜勤が頻繁にあることは負担が大きいとの声が多くあったことから、2009年にそれまで3交代制で月に8回程度の夜勤があったものを、2交代制に変更し、夜勤を月4回程度としました。また、子どもが保育所を利用している場合、18時以降に迎えに行く場合には延長料金を支払う必要がありますが、勤務時間帯の変更を可能とする制度を導入し、18時までに迎えに行けるように始業時間を前倒しにする時差出勤も可能となりました。

● 取り組み内容② 院内保育所の保育士の増員と、より柔軟な利用環境の整備

育児中の看護師がより働きやすい環境を整えるため、2009年に以前からあった院内保育所の機能を充実させました。具体的には、2名だった保育士を5名に増員して受け入れられる子どもの数を拡充したほか、外部の保育所を利用している場合で夏期休暇などによりその保育所が利用できない時や、通常は家族が育児をしているが都合により面倒を見られなくなった場合にも院内保育所を利用できるようにする等、より使い勝手の良い院内保育所へと変革しました。

● 取り組み内容③ 業務改善による残業の削減でワーク・ライフ・バランスの実現へ

看護師との面談により、看護師の業務量が多いため残業せざるを得ないことが多々あり、負担となっていることがわかりました。このため、2009年から看護師の業務の見直しなど業務改善に取り組みました。この結果、取り組み開始前の2008年には月平均20時間あった残業時間を、2009年には7.5時間に削減することができました。その後も改善を重ね、2012年には月平均2.8時間まで削減しています。また、ワーク・ライフ・バランスの実現のため、連続1週間の休暇を可能とするなど休暇の取得率向上にも取り組んだ結果、有給休暇消化率は95%に達しています。

取り組みによる効果



● 取り組みによる効果① 離職率の大幅な低下

以上の取組の結果、取り組み開始前の2008年までは2割前後だった離職率が、2009年以降は半分以下の水準へと大幅に低減することができました。また、以前は慢性的な看護師不足により稼働できなかった新病棟についても、看護師不足の解消を機に2009年から稼働を開始しています。2010年に7対1の看護配置※1を整備し、常勤看護師のみで基準以上の配置を実現しました。さらに2011年には特定集中治療室管理料1（ICU）※2を取得し集中治療室4床を稼働する等、病院の機能も拡充することができました。

※1 入院患者7人に対して、常時看護師1人以上を配置する看護体制のこと。当院ではこの看護体制を整備し、「7対1入院基本料」の施設認定を受けています。

※2 集中治療を要する重症患者に医療を提供するための治療室であり、特定集中治療室管理を行うのにふさわしい専用の構造設備及び人員配置の基準を満たしている施設のこと。

● 取り組みによる効果② 不要な経費の削減により経営が安定化

離職率が高かった頃は、新たな職員採用のための広告費等を含めた採用コストが大きな負担となっていました。しかし、看護師が働きやすい職場環境を整備した結果、定着率が向上するとともに、自らの知人の看護師などを紹介してくれることも多くなったため、採用コストを大幅に削減することができました。削減されたコストにより、配属する看護師を増やして個人にかかる負担を減らすとともにサービスの向上につなげる等、経営の安定化にもつながっています。

今後取り組みたいこと

育児や介護など、さまざまな事情を抱えた看護師も継続して勤務できるように、今後もコミュニケーションを重視し、いつでも相談ができる環境を整備・維持していくこととしています。また、職員のワーク・ライフ・バランスを向上させ、モチベーションを高めることにより、よりよい医療を提供できるように努めていくこととしています。

